

深田のぼる

後援会
ニュース

発行者：深田のぼる後援会事務局

沼津市新沢田町12-21

TEL : 080-5102-0123

Mail : fukada.noboru.kouenkai
@gmail.com

より良いふるさと沼津へ！これまで～これからの活動

沼津市議会議員としての活動も早8年。生まれ育ったふるさと沼津がより良いまちになるよう、そこに住み・働く方々がより一層幸せになるようにと、これまで行ってきた取り組みと、これから進めていく取り組みについてご紹介します。

沼津市・県東部地域の宝、アスルクラロ沼津の支援



これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●沼津市ホームタウン支援の取り付け ●スポンサーとなる企業・団体探し ●県知事・周辺市町の首長を訪問しての支援依頼 ●28連合自治会を訪問～サポーター・チラシ回覧・ポスター掲示依頼 ●場外イベント「アスルクラロ沼津応援フェスタ」を3年間実施
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●J2基準を満たす愛鷹競技場の整備を推進 ●J1基準を満たすサッカー専用スタジアム建設の道筋を模索

子どもの居場所づくり



これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●沢田小放課後児童クラブ「たけのこ」の増設 ●市内放課後児童クラブ、入所条件統一など環境改善 ●放課後子ども教室「沢っ子塾」を設立 ～地域・学校・家庭をつなぐコーディネータとして6年間活動 ●長期休みの子どもの居場所「新沢田町 夏休みの家」を設立 ●沢田小おやじの会～もちつき・防災キャンプ・20歳の自分への手紙
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後子ども教室・長期休みの子どもの居場所～他地域に展開

高齢者の生活支援



これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●移動販売や送迎など、買い物支援策の調査・研究
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会・社会福祉協議会・地域包括支援センターなどと、地域で支え合う生活支援の形を模索 ●情報機器を活用した生活支援



深田のぼる
の日々の活
動を掲載し
ています。
是非、ご覧
ください。

• HP / ブログ

深田のぼるオフィシャル



• Facebook # 深田のぼる

• LINE@



障がい特性を活かした仕事づくり

これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい理解を深める取り組み ●著名なブランド・チョコレートの移動販売 	
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●個々がもつ特性を活かした、更なる仕事・居場所づくり 	

安心・安全

これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●「中沢川・新中川流域を災害から守る会」の設立 ●金岡西部連合自治会の皆さまと連携した、県への要望活動 ⇒ 「新中川水系 河川整備基本方針」策定 ●地域有志で河川愛護団体を設立～河川の整備 ●消防団が活動しやすい環境整備、将来を見据えた人材育成 	
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●「新中川水系 河川整備計画」の策定 ●いざという時に、ご近所間で助け合う体制の再構築 	

にぎわい創出

これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●沼津駅北口でのビアフェス、アスルクラロ場外イベント、大道芸、高校生による高校生のためのお祭り等の開催 	
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●他市町と連携した伊豆オクトーバーフェストの開催 ●沼津市で生まれ・住み・働く方の節目を祝う式典の開催 	

教育環境の整備

これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の部活動のあり方検討会の設立～あり方の協議 ●新学習指導要領に対応した学習環境の整備 ⇒ 中学校12校の全普通教室に大型ディスプレイ導入 	
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●地域・スポーツクラブ・学校が連携した部活動の体制づくり ●学習用・指導用コンピュータの整備、ICT活用支援員の配置 ●地域のボランティアで学校現場を支える形づくり 	

議会・議員活動の活性化

これまで	<ul style="list-style-type: none"> ●議会だより改革、議会報告会・意見交換会の試行 ●議会・議員活動の情報化を推進 ⇒ H31年度予算に計上 	
これから	<ul style="list-style-type: none"> ●議会・議員活動の情報化、運用構築～試行～実運用へ ●市民意見を起点にした政策形成サイクルの構築 ●議員間討議の推進、反問権付与に対する検討 	

深田のぼるよりひとこと

人口減少・少子高齢化の時代、公と個人・団体、個人・団体同士での「協働・共助」が欠かせません。行政や社会が解決できない課題を、議員が自ら動いて道筋や枠組みを模索し、創り上げる必要があります。「政治屋」でなく「政治家」として、これからも活動していきます。

